

びわ湖かがやき ★カンパニー

びわ湖のほとりで「キラ」っと輝く滋賀県
中小企業家同友会メンバーの事業所、
商品、サービスをご紹介します。

<インタビュー>
取材まとめ：八木真紀（有限会社ウエスト）



vol. **70**
2017年4月発行

ツジコー株式会社

家庭用の照明器具から、植物栽培用の照明器具および生産工場システムを開発し、機能性植物の六次産業化を実現。時代を見据えた積極的なビジネス展開で業界の注目を集めるツジコー株式会社、代表取締役の辻 昭久さん取材しました。（取材／2月24日）

「光」の持つ新たな可能性を追求 世界で唯一、アイスプラントの 水耕栽培に成功

植物工場向けの「照明」からさまざまなビジネスを展開をされていますが、これまでの御社の歩みとは。

辻 昭和38年、地元の木材を使った木製シェードを商材に創業を開始、その後は大手家電メーカーの協力会社を経て、主に家庭用の照明器具の設計・組立・検査を基幹事業にしてきました。時代の流れにより照明はLEDへとシフト、コア技術を活かし太陽光と似た3波長ワイドバンドLEDの開発に成功し、このLEDを用いた野菜の完全閉鎖型植物工場の設計・組立を実現しました。さらにそこで栽培する野菜をより栄養価の高い機能性野菜にする自動システムを開発し、特許を取得しま



した。農業汚染の心配のない安心・安全な高機能野菜を天候に左右されず安定的に供給するシステムは、国内はもとより世界中で急速に需要が高まっており、さらに、3波長ワイドバンドLEDのUL/CSAを取得し、アメリカへの輸出も始まっています。

私が経営に携わってからの13年、日本経済は幾多の荒波を経ています。何もしなければこの会社もなかったかもしれません。今があるのは、大手企業の協力会社にとどまらず、自社による新しいモノづくりを追求し、チャレンジする行動力を失わなかったからだと思っています。

人間力の向上と徹底した予算管理 個人と組織を活かすマネジメント

創業から53年以上。新規分野へ進出する技術力、安定した経営の裏にはど



◀高機能野菜のアイスプラントをトッピング

日本アドバンスアグリでカフェレストランも運営。「大企業はBtoB (Business to Business) でもいいが、中小企業はエンドユーザーの意見を聞くというBtoC (Business to Customer) でなければ生き残っていけない」と辻社長。

んな社内努力があるのでしょつか。

辻 現在、社員数は112名。工場の現場労働はどれも働き手が不足しています。当社の生産ラインでも、ベトナムの技能実習生が活躍しています。

一方で開発の仕事では、将来を見据えた農業分野の事業に惹かれ、理系の学生や技術者から多くの問い合わせがあります。ここに腰を据え、「共に夢を叶える」という気持ちで、じっくりと取り組んでくれると見込んだ県内の若者を採用しています。

社員教育の取り組みとしては大きく2つ。一つは「社員力・人間力の向上」です。京セラの稲盛和夫さんが提唱された「京セラフィロソフィ」（企業人としての心得）をさらに簡潔にまとめ直した手帳「ツジコーフィロソフィ」を3年前に発刊し、毎日その内容を全社員で輪唱しています。「会社とは何か」「働くことは何か」「生きることと



長浜に設立した別会社「日本アドバンスアグリ」の閉鎖型植物工場では、ストレスを加えることで機能性成分を増やす技術投入した機能性野菜（南アフリカ原産のアイスプラント）を栽培。機能性野菜を粉末にして栄養補助食品「グラシトール」として製造・販売を開始しています。

**次世代に向けた新事業に挑戦
健康食品・化粧品「原料」開発
を推進**

今後、もつとも力を入れる事業とは。
日本の農業者は高齢化し、各地で

は何か」ということを常に意識すること
とで、いつ、どんなときでも正しい判
断ができるヒントになればと考えてい
ます。

二つ目は「徹底した予算管理」です。
部署ごとに予算を決め、数字を守るた
めの経費の使い方を部署に任せ、毎月、
部署単位の決算を行っています。これ
により常にコスト意識を持って効率よ
く仕事を進めることができます。また、
当社の従業員は男女ほぼ同数で、実力
をしっかりと評価する体制が従業員のモ
チベーション維持にもつながっている
ようです。総じて離職率が低いのも当
社の特徴です。



3年前に発行した手帳
「ツジコーフィロソフィ」。
毎日、全社員が輪唱しています。

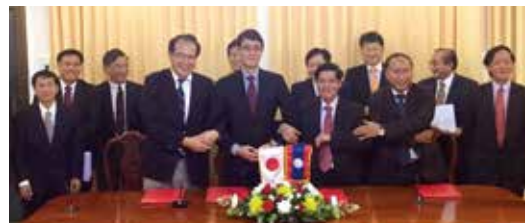
深刻な担い手不足となつています。ま
た、近い将来、世界的な人口増で食物
が不足する時代がやってきます。遺伝
子組み換え食品による効率化が進む中、
日本ではその安全性や倫理面について
の懸念が広がっています。しかし一定
のモラルを守ったゲノム編集（品種改
良の技術）は、現実問題に対応する手
段として避けられない流れでしょう。
次の世の中に求められる「農業」分野
に加え、もう一つ世界共通の関心事は
「美容」と「健康」分野です。すでに
機能性野菜アイスプラントを粉末に加
工し、栄養補助食品グラシトールとし
て製造・販売を進めています。さら
に化粧品などの「原料」として抽出加
工するという新たな事業に参入してい
ます。その拠点に選んだのは、今なお
自然の中で自給自足の暮らしが行われ
ているラオスです。農業や化学肥料に
汚染されていないピュアな土地、ラオ
ス固有のアーユルヴェーダ由来のハー
ブにも注目し、現地の人たちによる有
機栽培と機能性成分の抽出加工を目指
しています。

健康食品・化粧品の「原料」の開発
には莫大なコストと時間がかかるため、
ライバル他社の追随は容易ではありません。
ラオス事業が次世代の新たなビ
ジネスチャンスをつかむことになると
期待を寄せています。



ツジコー株式会社

(本社) 甲賀市水口北脇1750-1
TEL 0748-62-2233
<http://www.tsujiko.com/>



ラオスの保健省と医薬品第三工場、JICAラオス事業所、ツジコー
株式会社の調印式の様子。
中小企業の製品や技術が発展途上国の開発に有効であると認め
れ、国際協力機構(JICA)と委託契約を締結。
ラオスでは、インフラが整っていないため、輸送手段が課題。さま
ざまな課題が山積していますが、「今私たちが行っている事業は、
安心できる食の原料を消費者へ届けること。さらに発展途上にあ
るラオスにおいて雇用を生み出し、経済を活性化させることにも
つながります。前向きな仕事だから楽しいです」と辻社長。



社長自らラオスへ飛び、現地の生産体制を確立する準
備を進めています。「交渉や契約など、全て自分で行い
ます。他に任せるとフィルターがかかって正しい情報が入
ってきません」。企業の存続と発展のためには、「トッ
プの判断力・行動力が不可欠」とのこと。

「びわ湖かがやきカンパニー」に掲載希望の会員様は、同友会事務局までご連絡ください。
お申し込み多数の場合は、理事会等で掲載順を決めさせていただきますのでご了承ください。

滋賀県中小企業家同友会事務局
TEL 077-561-5333

周年事業はチャンスなのです。

「10周年」を迎えられる企業は100社に5社。
「30周年」は10,000社に2.5社しか残らないと言われています。
有限会社ウエストは、周年事業をステークホルダーへの感謝と共に未来への意思表示の機会と考えています。
弊社は、感謝を表現する式典の運用や記念誌製作から、ストラテジー決定のお手伝い及びその広報活動など、
周年に関するワンストップサービスをご提供いたします。



滋賀県中小企業家同友会会員企業 **有限会社ウエスト**
〒523-0898 滋賀県近江八幡市たかかい町南一丁目3-11 <http://www.west-design.com>

0748-43-0155 担当: 畑・成子・本田・片山まで